

# 第 29 回東海外来小児科学研究会開催のご案内

謹啓 時下、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。  
さて、この度下記の要領にて第 29 回東海外来小児科学研究会を開催します。例年通り後期研究会はワークショップ(以下WS)での開催となります。

WSのテーマとしては少子化対策、乳児スキンケア、管理指導表の計3題です。皆様の理解を深め、よりよい診療に生かして頂ければ幸いです。参加は東海外来小児科学研究会・外来小児科学会員に限りませんので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

敬白

## 【開催要綱】

日時：平成 27 年 10 月 25 日 (日)  
13 時 00 分～16 時 30 分 (12 時 30 分開場)

会場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち  
1302・1305・1309 会議室

〒450-0002  
愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38  
TEL: 052-571-6131  
FAX: 052-571-6132  
<http://www.winc-aichi.jp/>



### ◆13:00～13:45

『ワークショップの在り方を考える』 (1302 会議室)

三重大学大学院医学系研究科家庭医療学 教授 竹村 洋典 先生

### ◆14:00～16:30 ワークショップ

1 「少子化」をテーマに竹村先生とWSをしてみましよう (1302 会議室)

2 乳児スキンケアを学ぶ 一何故スキンケアは必要か、どう指導するか (1305 会議室)

3 心臓病管理指導表・腎臓病管理指導表についての検討 (1309 会議室)

1. 当日参加費として医師の方は3,000円、メディカルスタッフの方は500円を徴収させていただきます。  
また、各WSで使用するテキスト代等は別途 各自ご負担いただく場合がございます。
2. 当日の受付開始は12:30からです。研究会の開催時間は13:00～16:30 となります。
3. 原則として当日参加は可能ですが、会場の都合上定員以上になった場合参加できないことがあります。  
資料準備などの都合もありますので、なるべく事前登録をお願いします。
4. 今回も総合討論はありません。次回研究会の案内はWS終了後にリーダーから致します。
5. 日本小児科学専門医制度研修集会として5単位を取得予定です。

東海外来小児科学研究会世話人

落合 仁  
(代表世話人)

大西 正純

稲持 英樹

梅本 正和

川井 進

近藤 康人

鈴木 研史

千原 克

蜂谷 明子

松川 武平

矢嶋 茂裕

若園 明裕

上荷 裕広

近藤 久

(会計)

(事務局)

WS： 「少子化」をテーマに竹村先生とWSをしてみましょう

リーダー：梅本正和

アドバイザー：江藤みちる（三重大学発生再生医学助教、三重県少子化対策推進県民会議委員）

WSスーパーバイザー：竹村洋典（三重大学大学院医学系研究家庭医療学 教授）

2年後の日本外来小児科学会を、この東海地区（三重県津市にて）が担当することになりました。それに向け、今回は特別講演の竹村先生からじきじきのWSの手法を学びつつ、テーマを「少子化」としてみました。アドバイザーとして、県民会議に出られたリケジョの江藤先生（解剖学）にも加わっていただきます。三重県では合計特殊出生率（1.49）を、おおむね10年後には、1.8に引き上げることが目標に掲げています。1.8というのは、県民の結婚や出産の希望がかなった場合の水準（「希望出生率」）を意味しています。「少子化」という複雑な要因がからむ問題に対し、育児支援を行っている小児科医の皆さんと、いろんな視点から活発な議論をしたいと思います。「皆で作り上げる」という、本来の意味のWSをやってみたいです。多数の方々の参加をお待ちしております。

参加希望の方は下記のメールアドレスで事前登録して下さい。

ご参加の方には、追って資料など送らせて頂きたいので宜しくお願い致します。

e-mail: [kydju3zx @ za.ztv.ne.jp](mailto:kydju3zx@za.ztv.ne.jp)

WS： 「乳児スキンケアを学ぶ 一何故スキンケアは必要か、どう指導するか」

リーダー： 土屋 千枝（看、川井小児科クリニック、日進市）

サブリーダー： 岡本 まゆ美（看、つつじが丘クリニック、知多市）

上荷 裕広（薬、すずらん調剤薬局、亀山市）

西村 美鈴（看、近藤小児科医院、桑名市）

アレルギーエデュケーター：若林 由衣（看、ひばりがおかこどもとアレルギーのクリニック）

コメンテーター：近藤 康人（藤田保健衛生大学 医学部小児科教授

坂文種報徳会病院アレルギーセンター 副センター長）

生後早い時期からの正しいスキンケアが、乳児湿疹の予防や、アトピー性皮膚炎の重症化を防いだり、アレルギーの経皮感作を防ぐ事に大きく関与するといわれています。スキンケアの指導は外来看護の中でも重要な位置をしめるようになっていきます。スキンケアの指導はしたいが十分な知識がない、どう指導していいかわからないとお考えの方も多いと思います。

今回のWSでは、なぜスキンケアが必要かをコメンテーターの近藤康人さんに、解説していただきます。また、すでにクリニックで積極的に指導されている看護師や、アレルギーエデュケーターさんと共に①スキンケアの必要性を分かりやすく説明する方法 ②皮膚の洗浄の仕方③軟膏や保湿剤の塗り方 ④スキンケアをうまく継続させるための工夫などを報告してもらいます。また、実際に軟膏の塗り方と清潔の仕方を実習してもらいます。

（参加・不参加）をFAX送信して下さい

参加・不参加にかかわらずアンケートにご協力お願いいたします。

**メディカルスタッフの皆さんに  
アンケートをお願いします**

東海外来小児科研究会  
10月25日(日)

FAX : 0561-72-7073  
9月30日(水)まで

WS : 乳児スキンケアを学ぶ 一何故スキンケアは必要か、どう指導するか—

参加・不参加にかかわらず、全員の方にアンケートにご協力をお願い致します

○あなたの職種は？

看護師 事務員 その他( )

○スキンケア(入浴法や保湿剤の塗り方、ステロイド剤の塗り方)について

1) お母さんから相談を受けることがありますか？

しばしばある 時々ある ない

2) スキンケアについて外来で指導しますか？

①している ②していない

①しているとお答えいただいた方

どのような形態で？ 外来にて個別説明 スキンケア教室など集団で説明  
指導するスタッフは？ 担当を決めている 全員で  
指導時に困っていること・疑問に思っていること

②していないとお答えいただいた方

指導ができない理由を教えてください \_\_\_\_\_

指導を行ったほうが良いと思えますか？  良いと思う  そうは思わない

今後、スキンケア指導を行いたいと考えていますか？

考えている  考えていない

今回のWSに参加されますか？

参加する 参加人数 \_\_\_\_\_名 参加しない

本WSに参加される方は以下にもご記入ください。

御名前：

御所属：

御住所：〒

電話番号

返信はFAXでお願いします FAX : 0561-72-7073 川井小児科クリニック 迄

WS： 「心臓病管理指導表・腎臓病管理指導表についての検討」

リーダー：松川武平（愛知県名古屋市）

サブリーダー：近藤久（三重県桑名市）

コメンテーター：馬場礼三（前あいち小児保健医療総合センター循環器科部長・現中部大学教授）

永井琢人（愛知医科大学小児科・小児腎臓）

心臓病や腎臓病の子ども達が学校でどのように対応されているのか学校医にはほとんど連絡されていない。我々、主治医が管理指導表を記載しているが、学校現場でどう扱われているか不明なところ。特に名古屋市では、心臓病管理指導表を保護者が書いていい事になっている。このような状況では正しく管理されているのか甚だ疑問である。

小学校・中学校・高等学校の学校管理下で年間35～83名の突然死があり、その71.25%が心臓系突然死と報告されている。B、C区分に強度4の運動をして死亡した例があり、逆にE区分、管理不要区分で強度3、強度4の運動で死亡したケースが報告されている。心臓病管理指導表の記載は慎重にならざるを得ない。

また腎臓診断結果報告書・学校生活管理指導表についても我々開業医には書き辛いものである。

今回、前あいち小児保健医療総合センター循環器科部長の馬場礼三先生と愛知医科大学小児科（小児腎臓）の永井琢人先生をコメンテーターにお招きして心臓病管理指導表・腎臓病管理指導表について検討をしたいと思います。

多数の先生方の参加をお待ちしております。

**（参加・不参加）をFAX送信して下さい**

**参加・不参加にかかわらずアンケートにご協力お願いいたします。**

